



Q&A 一般質問

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めたりするために行うものです。
3月定例会でのみ所属3人以上の会派が代表質問(時間120分)を行うことができます。
今定例会では1会派が代表質問を行い、5名の議員が個人質問(時間60分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4ページ、個人質問は5～7ページに掲載しています)

代表質問



おおまえ かんじょう
大前 寛乗 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら!

行政財運営について

Q 新年度予算編成に当たり留意した点と重点施策について伺う。

A 「中心市街地活性化公民連携事業」については、駅前拠点施設の整備等に着手し、坂出緩衝緑地エリアにおいては、利用者向けのスペースや事務機能を備えた拠点施設の建設に着手するための予算を計上したほか、「坂出市内企業版ガイドブック制作業務委託料」として、地元での就職を促すなど、移住・定住の機運醸成を高めるまちづくり関連事業に予算を重点配分しました。

また、「坂出市学校給食事業補助金」として、令和8年度より新たに中学校の給食費無償化を実施するほか、「再編新校(前期)整備事業」や「絵本のまちさかいで推進事業」など、子育て世代に選ばれるまちづくり関連事業にも積極的に予算を配分しました。

さらには、降雨時の道路冠水解消や市街地の浸水防除を図る「排水路整備事業」のほか、「周辺用水対策事業」、また「緊急物資備蓄事業」の拡充といった、安全安心のまちづくり関連事業や、ゼロカーボンシティの実現、公共施設の老朽化対策などにも予算を重点的に配分しています。

(市長)

絵本のまちさかいで推進事業について

Q ボランティアの方々の協力を得て、企画展を増やす考えはあるか伺う。

A 先般市民美術館で開催された絵本作家による原画展及びイベントは大変多くの方が訪れました。主催は数十年にわたり読み聞かせボランティアを行っている団体によるもので、子供に絵本やおはなしの面白さを伝えていくこと、子育てに関わる全ての人に絵本の世界の奥深さを知ってもらう活動をされており、図書館においても「図書館友の会」の三員として、様々な行事を支えていただいています。

本市では、子供の頃から本とふれあい、読書を習慣づける取組として「絵本のまちさかいで推進事業」に取り組んでおり、令和6年度から「えほんのまちさかいでつうしん」も発行しています。御提案のような企画を行うことは、子供や保護者の方をはじめ、地域の方々に絵本の素晴らしさを知っていただく大変良い機会と捉えています。今後、本市の「絵本のまちさかいで」への取組を幅広く知っていただく企画ができるよう、各ボランティア団体と連携を図りながら検討を進めていきます。

(教育部長)

農業振興について

Q 環境配慮型農業の令和7年度の実績と令和8年度事業内容、今後の課題について伺う。

A 有機農業の推進については、有機JAS認証の取得は栽培技術や生産コスト、労力の面で課題が多く、拡大していくことは難しいものと考えています。そのため、有機JAS認証に相当する農業を含め、化学肥料や農薬の使用を低減または不使用とする農業を「環境配慮型農業」と位置づけ、市民の理解や関心を喚起する取組を行っていきたくと考えています。

本年度は、12月8日の「有機農業の日」にあわせ、化学肥料を使わずに栽培した金時にんじんを幼稚園や小学校の給食で提供しました。また、本年1月に環境に配慮した農業セミナーを開催したところ、53名の参加があり、再度参加を希望する声など、好意的な意見が多く寄せられました。

今後の課題については、環境配慮型農業による農産物は慣行農業に比べて販売価格が高くなる傾向があることから、選択・購買を促進するための消費者へのより一層の理解醸成が重要であると考えています。

新年度においても、学校給食や農業セミナーの取組を継続するなど、環境に配慮した農業への理解と関心を高めていきたいと考えています。

(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・ 防災対策について
- ・ ふるさと納税について など